



社会福祉法人 鶴田町社会福祉協議会

ふれあいネットワーク



ふれあいひろば

今月の題字 水元保育園 よこた よしきくん

鶴田町老人クラブ連合会 創立50周年記念式典



2月24日(火)、『鶴田町老人クラブ連合会創立50周年記念式典』が鶴遊館を会場に盛大に行われました。

50周年の記念の年を祝うべく総勢約150名が一堂に会し、青森県老人クラブ連合会会長今本芳穂様による講演。永年にわたり老人クラブ活動に尽力された方々への表彰。一戸平二御一行や鶴田町老人クラブ連合会芸能部によるアトラクション等が行われました。

今回の式典は、鶴田町老人クラブ連合会の歩んできた歴史を改めて知るとともに、今後も会員同士がお互い協力して会の発展のため活動を推進していく決意を固める機会となりました。



講演「私と老人クラブ」
青森県老人クラブ連合会
会長 今本 芳穂 様



鶴田町老人クラブ連合会
会長 乗田 勝雄 様



受賞者代表謝辞
佐々木 敏雄 様



一戸平二御一行による
アトラクション

発行

〒038-3503
○編集と発行
○印刷

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193
鶴田町社会福祉協議会 TEL. 22-3394・FAX. 22-6322
HPアドレス <http://tsuruta-syakyo.or.jp/>
(有)ブリジック



平成26年度 鶴田町社会福祉大会「福祉作文コンクール」作品紹介

☆小学生の部および中学生の部で、それぞれ最優秀賞を受賞した2作品をご紹介します。

小学生の部
最優秀賞

「言葉」

胡桃舘小学校6年
川村侑 女さん

わたしたち人間が、たくさんのお話を聞いて、自分の考えを伝えたり、相手の考えを受け止めたりしています。私の母は、かい護福祉士をしています。おばあちゃんやおじいちゃんはお話を聞いてもらったり、会話をしたりしているだけで、落ちついて楽しそうにしています。例えば、何か挑戦している人に、見ている人が応援をしています。人を応援するということは、人を支えることだと思います。だれかに応援してもらえたらうれしくなるし、自分もがんばろうと思います。

また、体が不自由な人やお年寄りの人にバスや電車、席をゆずっている場面も見かけました。修学旅行で、わたしたちが電車に乗っていると高齢者の方に乗ってきたので、「席、どうぞすわって下さい。」と友達が言ったら、その方は、「あ、いいよ。すわっていい。ありがとう。」と言って、立っていました。わたしはとても思いやりのあふれた会話だなあと思いました。

このように、言葉でたくさんのお話を表すことができます。お年寄りの方々とのお話やだれかを支えるということは、言葉で表現できる思いやりの数々です。私は、こういった言葉のやりとりが会話の中で大切だと思います。

思いやりのある言葉は、相手の心を温かくする力があります。これからも、日々の生活の中で様々な場面で私たち人間は言葉を使って、たくさんの人々とのコミュニケーションを持つにちがいません。

また、地域のひととのあいさつも大切です。私は知り合いの人に声をかけてもらった時、「大きくなったなあ。」と言われ、とてもうれしかったです。私の事をよく見てくれているんだなあと思いました。だから、私は、今、知らない人にも、「おはようございます。」と明るくあいさつをしています。きっと相手もうれしくなると思うからです。

私は、私と出会うたくさんの人々に、心が温かくなる言葉をかけたいし、私もまた、心が温かくなるような言葉をかけてほしいと思います。

中学生の部
最優秀賞

「共生社会を目指して」

鶴田中学校3年
上原 雄 永さん

僕は、今回福祉体験講座を受けてみて、障がいの人たちやお年寄りなどの社会的に弱い立場の人々のために、人が、そして社会全体が意識を改革していくべきだと思いました。なぜかという、最近まで障がい者の字を害するなどの害などと表記していたり、お年寄りに優しくない環境があったりと決して障がいの人たちがお年寄りにいい環境とは言えませんでした。

しかし、ここ何年かバリアフリーやノーマライゼーションといった単語が出てくるようになってきました。バリアフリーはもちろんノーマライゼーションとは、障がいのあるなしに関わらず、すべての人が区別されることなくふつうの生活を送ることです。こういった素晴らしい考え方があっても、先日も全盲の少女が蹴られるといった悲惨な事件がありました。これは、人の多い駅で目の見えない少女が使っていた棒がその人に当たってその人が転んでしまいました。少女は目が見えないし、まして人が多いので耳で聞きとることができませんでした。ここまでは事件とはいえませんが、しかし、その男性は少女を追いかけて、後ろから蹴ったのです。どうして追いかけて蹴ったのでしょうか。僕には気持ちが悪いです。このように、明らかに目の見えないことをいいことにはできません。目が見えていたら追いかけて後ろから蹴るということはできません。

僕はこう考えます。その犯人はいつかは目が見えないからけつてもいいだろうと思いついて、犯行にいたつたと考えます。明らかに差別です。障がい者だからといった。日本国憲法の平等権にこんなことが書かれています。すべての国民は法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地によって差別されないとあります。憲法でも差別してはいけないと言っているのに障がい者を差別する。これは憲法違反といつても過言ではありません。でも大勢の人たちが自分と違うという理由で差別しています。自分と違うなんてあたりまえです。なので、人、人すべての人は平等だと意識しないと本当の意味での平等は成しえないと思います。

善意の灯火

思いやりのこもった尊いご寄附をいただきました。町社会福祉向上のため、大切に活用させていただきます。
(平成27年1月16日～平成27年3月15日 敬称略)

一般寄附(金銭)

渋谷孝彦	100,000円
菖蒲1小学校第6学年	5,000円
鶴田町立鶴田中央保育所	5,000円
匿名	200,000円
匿名	50,000円

匿名	名	40,000円
匿名	名	20,000円

一般寄附(物品)

青森県立鶴田高等学校	車いす1台
ハイコンポ ネット青森	車いす1台

平成26年度 高齢者レクリエーション大会



2月17日(火) 鶴遊館で「平成26年度高齢者レクリエーション大会」が開催され、約70人が参加されました。

津軽地方で根強い人気があるトランプゲーム「ゴニカン」と、生涯スポーツとして親しまれている「グラウンドゴルフ」の2競技で熱戦が繰り広げられました。

成績上位者には賞状や賞品が授与されましたが、成績にかかわらず楽しい時間を過ごし、お互いの交流を深めました。



グラウンド・ゴルフの部

表彰者

優勝	山田博睦
準優勝	山田良子
第3位	坂本俱慧
第4位	口浩専
第5位	越富太郎

ゴニカントランプの部

表彰者

優勝	石岡勝雄
準優勝	佐藤利則
第3位	伊藤忠造
第4位	瓜田甚一郎
第5位	安田勝雄

4月 鶴田町総合相談所開催日程

- 相談内容：生活・介護・福祉等について
- 開催日時：毎日9時～17時
- 場所：町保健福祉センター「鶴遊館」
- 相談員：社協職員
- 利用料：無料

～一人で悩まず、気軽にご相談下さい～

※相談内容は、法的守秘義務により外部に漏れることはありません。

※相談内容によっては、適切な相談機関をご紹介する場合がございます。

◆問い合わせ◆

鶴田町社会福祉協議会(地域包括支援センター)
TEL 22-3394 FAX 22-6322

まちがひさがし

- ★答えは、ハカキに、イラストを切り取らないで書いて送って下さい。
- ★正解者の中から**5名**に粗品を贈ります。
- ★宛先 鶴田町字沖津193 鶴田町社会福祉協議会
- ★締切 **4月15日消印有効**



左の2つの絵から**5**か所のまちがいをみつけてね

2月号当選者（敬称略） おめでとうございます！

- ★秋庭 恭子 ★新谷 美保子 ★菊地 つる ★渋谷 ミヤ ★安田 恵子

シルバー人材センター 会員募集!!

～シルバー世代の知恵と技術を 地域のために役立てましょう！～

- 対象：原則60歳以上の健康で働く意欲のある方
- 会費：年会費2,500円（傷害保険料として）
- 主な作業内容
 - 米 りんご等の農作業
 - 庭等の草取り 草刈り
 - 庭木等の剪定
 - 家事援助（掃除 洗濯 調理等）
- 配分金（賃金）：1時間 700円～800円

くわしくは、鶴田町シルバー人材センター（鶴田町社会福祉協議会内 Tel.22-3394）まで

4月 行事予定

- 10日(金) 町母子寡婦福祉会定時総会（鶴遊館）
- 15日(水) ほほえみ弁当お届けサービス
- 20日(月) 広報委員会（鶴遊館）
- 23日(木) 丹頂の集い（鶴遊館）
- 24日(金) 町老人クラブ連合会定時総会（鶴遊館）
- 28日(火) 町手をつなぐ親の会定時総会（鶴遊館）
- 未定 町身体障害者福祉会定時総会（鶴遊館）



「先人の文化に感謝」

鶴田町と友好交流協定を結んでいる鹿兒島県さつま町が、合併十周年を迎えました。記念式典で鶴田町の長峰健さんと葛西頼之さんが津軽三味線を演奏したところ、会場は、シーンと静まりかえりました。

出席者の皆さんは、大きな音色も小さな音色も、つづつ確かめるように聴き入っていました。そして、津軽三味線を生で聴いた感動は、演奏が終了したときに、大声援とよどみない拍手で表現されました。

津軽三味線を鶴田小学校で指導した長峰さん、その最初の指導を受けた番弟子の葛西さん。強い絆で結ばれた二人の演奏は、さつま町の方々の心に友好の証として未永く語り継がれることでしょう。

今年は、鹿兒島県で国民文化祭が開催されることになっており、郷土芸能の部をさつま町で行うことになっているそうです。この度の演奏を耳にした熊本県のある高校では、津軽三味線と吹奏楽の合同演奏を企画したいと申し入れがあったとのことでした。

以前、ポルトランドでジャパンウィークが開催されたとき、長峰さんの演奏で会場は大興奮に包まれたそうです。初めて聴く人をも魅了してしまう津軽三味線は、まさに津軽の魂であり、宝です。

鶴田町歴史文化伝承館（旧水元小学校）で行われた「アートミュージックアムinつるた」も津軽三味線の音色と熱気があればこそです。音楽で交流が生まれ、絆が深まり、新しい企画が培ってきた文化に、心から感謝しております。

(A)